

○平成23年度調査研究について

研究テーマ	住民と行政との実践的な協働のまちづくり
期間	平成23年6月10日～平成24年1月20日（計12回）
修了者	6人（川崎市、茅ヶ崎市、座間市、南足柄市（2）、センター職員）
アドバイザー	産業能率大学情報マネジメント学部 教授 斉藤 進氏
研究の概要	<p>研究員には事前課題として、「課題と研究したいテーマ」を提出してもらい、それを起点とし、協働によるまちづくりが進まない要因を検討していった。</p> <p>その中から、「プロセスの透明性」「市民参加から市民協働へ」「市民参加から行政参加へ」「地域自治への取組」を研究する主要テーマとし、先進都市の事例を視察しながら課題解決のカギを調査していった。</p> <p>研究報告書では、「協働の取組」を「住民自治」への過渡期であると結論づけ、そこに至るまでに必要な住民及び行政の意識改革、また、「組織づくり」「人材育成」「将来展望」について提言を行った。</p>
報告書目次	<p>第1章 本研究の目的と構成</p> <p>第2章 協働の現状と課題</p> <p>第3章 協働プロセスの透明性を目指して ～愛知県日進市</p> <p>第4章 市民参加から市民協働へ、市民がつなぐ「協働」 ～三鷹市市民協働センター</p> <p>第5章 地域協働の実践 ～NPO法人金太郎プロジェクト推進委員会</p> <p>第6章 地域自治への挑戦 ～藤沢市</p> <p>第7章 実践的な協働のまちづくりに向けて</p>